



公益社団法人
東京都理学療法士協会

2026.5.27 発行
発行 公益社団法人
東京都理学療法士協会
発行人 豊田 輝
帝京科学大学
編集人 井出 大
医療法人社団永生会
法人本部 地域支援事業部
〒193-0942
八王子市栢田町 590-4
TEL :042-661-4025

都士会 News

第45回 公益社団法人 東京都理学療法士協会



東京都理学療法学会大会

人を見る 理学療法の原点に 立ち返る

専門性の深化と連携による予防・健康増進への挑戦

2026年 9月13日 SUN

開催方式：対面開催（一部オンデマンド配信あり）

会場 東京都立大学荒川キャンパス

〒116-8551 東京都荒川区東尾久 7-2-10

大会長 古川 順光（東京都立大学）

副大会長 外谷 靖之（社会医療法人社団光仁会 第一病院）
池田 由美（東京都立大学）

準備委員長 田島 敬之（東京都立大学）



No.238

第45回東京都理学療法学会大会
のお知らせ
演題登録は6月7日正午までです

contents

動画配信管理委員会	2～3	地域活性局	12～19
東京都理学療法士協会部局紹介（学術局）	4～5	スポーツ局スポーツ支援・推進部	20～26
東京都理学療法士協会部局紹介（福祉保健局）	6～7	スポーツ局子どもの健康・安全部	27～32
エスカレーターマナーアップ推進委員会	8	スポーツ局人材育成部	33～35
広報局外宣部	9	学術局学術誌編集部	36～37
福祉保健局小児福祉部	10～11	編集後記	37

TPTA 動画配信サイト

2026.3.1
登録開始！

講座の配信は
2026/4/1より順次開始します。



利用登録方法

01

理学療法士協会マイページ内のセミナー検索を表示

02

セミナー番号で検索

東京都士会員：155266 他県士会員：155268

03

セミナー登録後、自動返信メールを受信
掲載URLよりOneStreamに登録(※)

※講座の視聴には**OneStream**への登録が必要です。

本セミナー番号の有効期限は、**2026/3/1～2027/3/28**です。
楽しみにお待ちください。



公益社団法人
東京都理学療法士協会

問い合わせ先
動画配信管理委員会
tpta-vcm@googlegroups.com

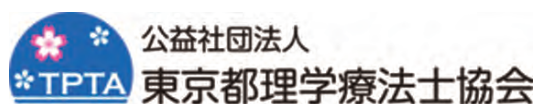
動画リクエスト募集

あなたの声が教材になります！

リクエストは
QRコードをスキャン



問い合わせ先
動画配信管理委員会
tpta-vcm@googlegroups.com



こんな動画
を見たい！

- 評価法をおさらいしたい
- 脳卒中の治療法を知りたい
- ○○先生の講義を聞きたい

・・・等々

皆様のリクエスト
お待ちしております！

学術局

- ・学術局は研修部、新人教育部、教材資料部、研究推進部、学術誌編集部で構成されています。
- ・これらの部が協力し会員の皆さんの生涯学習をサポートすることにより、理学療法の普及向上を図るとともに、都民の医療・保健・福祉の増進に寄与していきます。



局長 古川順光
東京都立大学



次長 宇佐英幸
東京都立大学

研修部

- ・研修部では、①理学療法士を対象にした理学療法研修会の企画運営に関すること、②講習会の企画運営に関すること、③その他、研修に関することを主たる業務として活動を行なっています。
- ・会員の皆さまの臨床・教育・研究活動を支えるため、多様な研修企画を通じた学びの機会の提供に取り組んでいます。急性期・回復期・地域・スポーツ・予防分野など、幅広い領域に対応した研修会を企画し、日々変化する医療・介護・福祉の現場に求められる知識・技術の習得を支援しています。
- ・また、経験年数や専門分野を問わず参加しやすい研修体制を目指し、基礎的内容から専門性の高いテーマまで、実践に直結するプログラムを開催しています。近年では、オンライン形式を活用した研修や、新たなテーマの研修会など、新たな学びの形にも積極的に取り組んでいます。
- ・研修部スタッフ一同、「学びを通じて、理学療法士一人ひとりの成長と東京都民へのより良い理学療法提供につながることを大切に活動しています。今後も、多くの会員の皆さまにとって有意義で参加しやすい研修づくりを目指してまいります。



部長 大川原洋樹
慶應義塾大学

新人研修部

新人教育部の活動（前期研修：初期研修）

—— 理学療法士の知識・技術向上と、生涯にわたる学習を支援します ——



部長 酒井克也
東京都立大学

- ・理学療法士の知識・技術向上と、生涯にわたる学習を支援します。

教材資料部

- ・事業①英語論文紹介事業：様々な分野の研究論文をまとめ、私見も含めてホームページおよび雑誌「理学療法東京」にて紹介しています。
- ・事業② EBM に関する講習会：論文の読み方や、その臨床応用の具体的方法について、神経、運動器や循環器などの分野の講習会を Web で行っています。
- ・事業③動画教材資料の作成：評価方法などの解説動画を作成し You tube で公開。「東京都理学療法士協会・教材資料部」で検索してみてください。



部長 渡部幸司
順天堂医学部附属
順天堂医院



古谷英孝
(苑田第三病院・苑田会東
京脊椎脊髄病センター)



山崎優太
(順天堂医院)



高橋遼
(池尻大橋せらクリニック)



石川千尋
(順天堂医院)



中村岳史
(順天堂医院)



石井健史
(苑田会ニューロリハ
ピリテーション病院)

研究推進部

- ・研究推進部は、駒形由香子（慶應義塾大学病院）、田屋雅信（東京大学医学部附属病院）、笈慎吾（東京女子医科大学）、松田雅弘（順天堂大学）、藤野雄次（順天堂大学）の5名の部員により、研究助成事業と理学療法研究法講習会の2事業を実施しています。
- ・研究助成事業は例年4月中に募集をし、1件10万円を上限として総額50万円までの助成を行っています。毎年多くの研究助成の申請をいただいております、理学療法士の臨床研究が着実に根付いてきていると感じています。
- ・理学療法研究法講習会は、研究助成の申請にもつながるように、各専門領域で臨床経験・臨床研究の実績が豊富な先生を講師に向かえて、より実践的な研究手法の講演を企画しています。



部長 小山貴之
日本大学

学術誌編集部

- ・学術誌編集部は、中村壮大（社会医学技術学院）、黒野大希（特別養護老人ホーム 芦花ホーム）の2名が部員となっております。
- ・本会機関紙（以下、機関紙）「理学療法東京」の企画・編集・発行を行っています。
- ・機関紙「理学療法東京」の原稿査読に関する業務の管理運営を行っています。
- ・その他、機関紙編集に関することを行っています。



黒野大希
(特別養護老人ホーム
芦花ホーム)



中村壮大
(社会医学技術学院)



部長 中山雅和
社会医学技術学院

福祉保健局

福祉保健局は、都民のライフステージに応じた健やかな暮らしを支えるため、小児、障害者、高齢者、そして健康増進の4領域を中心に、包括的な福祉・保健を推進できるよう、5つの部で取り組んでいます。主な活動は、子どもや障害者の自立支援、高齢者の介護予防、介護保険における支援、あるいは全世代の健康増進といった「心身の健康維持」と「社会参加」を促進できる人材育成、また、それらの現場の支援等、理学療法士の専門性を活かした、都民のQOL（生活の質）と福祉の向上に努めております。



業務執行理事 田代 文子
清瀬リハビリテーション病院



局長 南雲 健吾
(リハビリ企画合同会社)



次長 神原 舞子
(ふくし住まい支援の会)

小児福祉部

障がいのある子どもたちが「その子らしく」、ご家族が「その家族らしく」豊かな生活を送れるよう、小児福祉部では、子どもと家族、そして支えるすべての皆様に向けて、情報発信や講習会等の開催を行っています。

*主な活動内容、実績

- ①子どもの福祉用具展（キッズフェスタ） 出展（4月開催）
- ②こどものための福祉機器展 出展（8月開催）
- ③保護者向け講習会（直近では電動移動機器体験会 開催）
- ④東京都小児理学療法セミナー（年1回 専門職対象）
- ⑤東京都小児リハビリテーションマップ
（2026.4 第5版発行）
- ⑥「子ども達の生活年表 2025」作成（2025.4 発行）

※⑤⑥は協会 HP

(https://www.pttokyo.net/info/rihabiri_shou) にて
閲覧、ダウンロード可能です。



部長 黒川 洋明
(島田療育センター
はちおうじ)



介護保健部

介護保険部では、介護保険サービス全般、認知症支援、自立支援型ケアマネジメントなどを主な範囲としており、介護保険分野で働くリハビリ職種はもちろんのこと、介護保険分野に興味のある方を対象に研修を企画しております。ここ数年はデイサービスや有料老人ホーム、特別養護老人ホームで機能訓練指導員として働くリハビリ職員に向けた研修を行いました。これからも様々な研修を企画して参ります。



部長 池田 淳子
(東京総合保健福祉
センター 江古田の森)

高齢福祉部

高齢福祉部では、高齢者が安心して生活し続けられるよう、日常生活に潜む様々な課題に着目した講習会を開催しています。

転倒予防やフレイル対策、整形外科疾患への対応をはじめ、高齢労働者に特有の課題について、労働衛生の視点から実技を交えて実施しています。

*主な活動内容、実績

- ①高齢者向け健康講座の企画・運営（通年開催）
- ②労働衛生の視点を取り入れた生活・作業環境改善の普及
- ③市区町村と連携した地域密着型講座・イベントの開催
- ④都民向け公開講座・健康啓発事業の実施



部長 尾崎 智之
(山中整形外科
内科クリニック)

障害福祉部

障害福祉部では、都民への障害福祉の推進を図るとともに、福祉サービスや福祉活動の充実、障害者の自立支援を目的として、地域生活や社会参加を支えるための活動を行っています。また、関係機関や地域団体と連携しながら障害者福祉活動を推進するため、研修会の開催や施設見学会なども実施しています。

*主な活動内容

- ①障害者施策等に関する研修会の開催
- ②就労支援施設の見学会
- ③装具チェックリストの作成 (<https://forms.gle/9abTk4W9bXaPGGuo8>)
- ④装具に関する相談会
- ⑤障害福祉に関するアンケート調査等



部長
福祉保健局次長
工藤 弘之
大久野病院

健康増進部

健康増進部には5名の部員が在籍し毎年2～3回、都民の健康増進に寄与できる事業を開催しております。

ここ数年では「子供食堂利用者に対する運動指導」「ウイメンズヘルスケア（産後リハビリテーション）」「フレイル予防」「体力測定」などのイベントを各地域と連携して行い、多くの方々に御参加頂いております。

今年度につきましては「園芸リハビリテーション」を新たなテーマに挙げ、土や草花に触れる中に運動の専門家である我々理学療法士の視点を加えるという魅力あるプログラムを計画しております。

今後も健康増進部は理学療法士の持つ専門性を活かし都民の皆様の健康増進に貢献すべく様々な企画を提供して参りますので御理解、御協力の程宜しくお願い致します。



部長 小澤 伸治
(戸田中央メディカル
ケアグループ本部)

委員長 石川 愛香

東京都「心のバリアフリー」 好事例企業として東京都理学療法士協会が公表

この度、東京都が取り組んでいる「心のバリアフリー」サポート企業連携事業において、エスカレーターマナーアップ推進委員会の活動が好事例企業として公表されました。2026年4月2日付にてプレスリリースを作成してありますので都士会 HP 上にて是非ご覧ください。

東京都は企業等と連携し、心のバリアフリーに対する社会的気運の醸成を図るため、従業員等の意識啓発等に取り組む企業等を「心のバリアフリー」サポート企業として登録しており、特に優れた取組は都が好事例として公表しています。

東京都理学療法士協会は心のバリアフリー サポート企業として登録されています。



都士会 HP



東京都福祉保健局「心のバリアフリー」好事例企業



イベント情報

例年開催しております小学生を対象としたインクルーシブ教育体験イベント「共生社会ってなんだろう？」を今年も開催致します。オリジナルまんが教材「わけあってこちら側に止まっています」を使用して共生社会やインクルーシブ教育を学んだり、ボッチャ体験を予定しています。

8月の開催に先立ち6月にプレスリリースを予定していますので是非ご確認お願い致します。



特設 HP QRコード



今年度ポスター

<エスカレーターマナーアップ推進委員会>

- 各種お問い合わせ (Mail) : esca.pttokyo@gmail.com
- Facebook URL <https://goo.gl/nnXZcQ>
- X (旧 Twitter) : URL https://twitter.com/tomanoru_esca
- まんが教材

特設 HP <https://www.pttokyo.net/esca/>
2023

年6月9日から特設サイトよりまんが教材の無料提供を開始しております

エスカレーターマナー 動画

○英文動画

URL <https://youtu.be/6FBq6xhKglQ> 2025年公開

○日本語動画 URL : <https://youtu.be/MRBqxaKEEMM> (2019年公開)



第 24 回 看護フェスタ参加報告

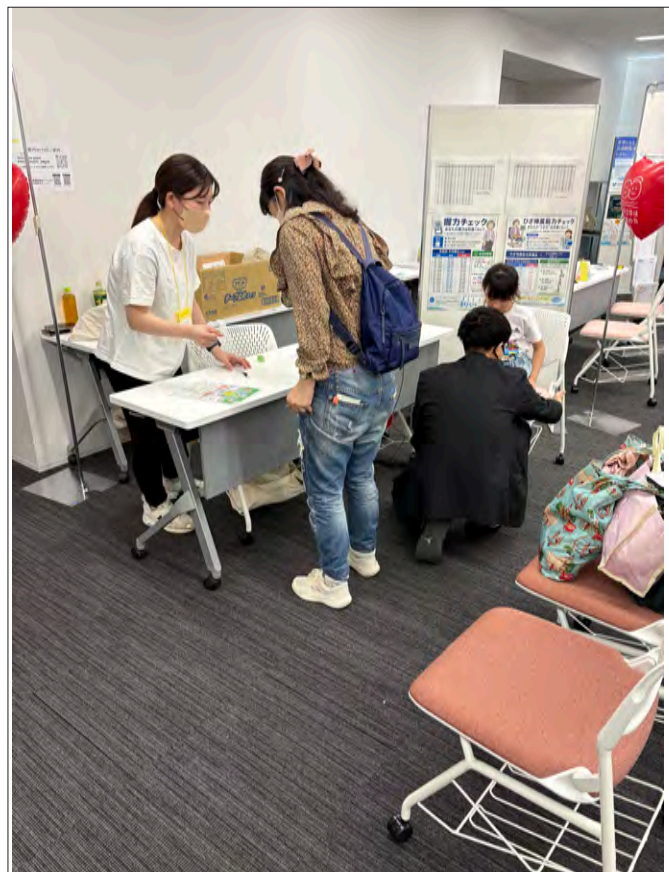
日 時：2026年5月16日(土) 12:00～16:00
 会 場：新宿区西新宿4-2-19 東京都看護協会会館
 対 象：ブース来訪者 150名
 運営スタッフ：板井恵輔 中村樹 前田透子 大塚千亜希
 概 要：

東京都看護協会会館にて看護フェスタが開催され、本年も東京都理学療法士協会としてもブース出展し参加致しました。

内 容：

本年度の看護フェスタでは「見て聞いて感じてみよう！看護のしごと」をコンセプトに講演会や看護の仕事紹介、学生への進路相談などを実施していました。測定・体験・展示コーナーが大変充実しており、本協会では「筋力から分かる身体年齢」を表題に測定と簡単なセルフケア指導を実施しました。近年続けて実施しており、毎年参加してくださる方から初めての方まで、多くの来場者様にご好評いただき大変嬉しく思います。

内容としましてはハンドヘルドダイナモメーターを使用して大腿四頭筋筋力の測定と、握力計での握力測定を実施し、全国平均値から簡易的に身体年齢をお伝えする形を取りました。また昨年より、地域の皆様の健康増進のため、測定後に簡単なセルフケアの指導にも尽力しております。



開催中は、お子様からご高齢の方まで幅広い参加者の方に参加していただき、皆様普段測定することのない内容に関心を寄せていただきました。積極的にセルフケアの方法を質問してくださる方も多く、都民の皆様の健康的な生活の一助となることのできたと感じております。

本イベントには200名以上の方々が参加され、本協会ブースにも約150名お立ち寄りくださいました。測定・相談やノベルティ配布を通して様々な方に理学療法士を知っていただき、より良い健康増進活動が行えたと感じております。



子どもの福祉用具展（キッズフェスタ） 出展報告



4月18日（土）、19日（日）に開催された「第25回子どもの福祉用具展（キッズフェスタ）」に出展しました。

今年から会場が「有明 GYM-EX」となり、これまでより広い会場・ブースでの開催となったため、例年以上に多くの子どもたちをゆったりとお迎えすることができました。

今回の展示では、障がいのある子どもたちのご家族が日々工夫されているアイデアグッズを中心に、医療的ケア用品や衣服、おもちゃなどを多数展示しました。

また、障がいの有無に関わらず、誰もが楽しく遊べる改造おもちゃも展示し、子どもたちだけでなく、ご兄弟やご家族も一緒に楽しめる環境づくりを行いました。

展示会全体では、2日間で10748名が来場され、小児福祉部のブースにも多くの方々にお立ち寄りいただきました。子どもたちの笑顔にあふれた、楽しい展示会となりました。



報告者 小児福祉部 部長 黒川洋明

東京都小児リハビリテーションマップ 第5版 完成のお知らせ

「東京都小児リハビリテーションマップ」は、約13年前、障がいのある子どもたちやご家族が、退院時や地域での施設探しの際に少しでも安心して選択できるように、情報を届けたいという思いから、小児福祉部で企画・作成が始まりました。

2013年に第1版(掲載45施設)を発行して以降、2017年、2020年、2023年と改訂を重ね、このたび第5版が完成いたしました。

今回、第5版は203施設(第4版:144施設)に掲載協力頂きこの場を借りて御礼申し上げます。(掲載内容は各施設様に入力して頂いた内容を加筆修正せず掲載しています。※誤字や脱字等は修正いたしました。)

このマップが、子どもたちやご家族、そして支援に関わる多くの方々をつなぐ一助となれば幸いです。

協会HP (https://www.pttokyo.net/info/rihabiri_shou)にて閲覧、ダウンロード可能です。



報告者 小児福祉部部长
黒川洋明

区西北部ブロック部
学術集会・症例検討会 実施報告

- ・日時：令和8年3月7日（土）
- ・名称：東京都理学療法士協会区西北部ブロック部学術集会・症例検討会
- ・テーマ：『切磋琢磨』
- ・会場：順天堂大学お茶の水センタービル
- ・集会長：岡崎俊秀（みらいリハビリテーション病院）
- ・内容：
 - 基調講演 「急性期・回復期・生活期をつなぐ身体活動支援—理学療法士に求められる評価と実践」
講師：東京都立大学 田島敬之 先生
 - 招待講演 「リハビリテーション領域における AI の活用」
講師：順天堂大学 松田雅弘 先生
 - ハンズオンセミナー 「歩行：立脚後期における足部の評価とアプローチ」
講師：森山脳神経センター病院 北山哲也 先生
 - 一般演題（口述発表）：2 演題
 - 症例検討会（運動器系・内部障害系）：2 演題
 - 座談会：テーマ「理学療法士のキャリアデザイン」
- ・参加者：学術集会 58 名、症例検討会 38 名 計 96 名



概要：

今回の区西北部ブロック部学術集会・症例検討会は半年以上前から準備を行い、ブロック世話人を中心に会場や内容、講師や座長の選任等を行ってきました。広報には、都士会 HP や FAX 通信のほか、各種 SNS も利用しました。テーマである「切磋琢磨」には、互いに励まし合って向上し、今後の理学療法士人生に活かしてもらいたいという思いが込められています。

当日は、当協会の豊田協会長のご挨拶から始まり、3名の講師の先生方の講演や口述発表を行いました。講演では、ご高名な先生方をお呼びして



現代を生きる理学療法士にとって非常に重要な考え方やスキル、アプローチ方法について学びました。また、別会場では症例検討会を同時開催し、活発な意見交換が行われました。終盤には、講師の先生方を囲みながら「キャリアデザイン」について語り合う座談会を開催しました。普段はなかなか聞けないスペシャリストの先生方の考え方を聞き、多くの参加者が今後の自身の将来について、深く考えている様子が見られました。

これからも区西北部ブロック部では、都民や会員の有益になる事業を積極的に行っていきたいと思います。今後ともよろしくお願い致します。

報告者：古庄秀明（公益社団法人地域医療振興協会 練馬光が丘病院）

区西北部ブロック部
研修会 実施報告

日時：令和8年2月16日（月）

テーマ：『その人らしい活動や生活を再獲得するためのリハビリ戦略
～急性期から生活期まで活用できるリハマネジメント～』

講師：メイン講師 渡邊寿彦先生（ゆみのハートクリニック）

～急性期の立場から～ 六鹿健児先生（東京北医療センター）

～回復期の立場から～ 岡崎俊秀先生（みらいリハビリテーション病院）

～生活期の立場から～ 矢澤拓也先生（ケアセンターけやき訪問看護ステーション）

形式：オンライン（Zoom）

参加者：103名（うち都士会員49名）

内容

区西北部ブロックでは、毎年会員向けの研修会を行っております。今回のテーマは「その人らしい活動や生活を再獲得するためのリハビリ戦略～急性期から生活期まで活用できるリハマネジメント～」としました。まずメイン講師としてゆみのハートクリニックの渡邊寿彦先生にリハビリマネジメントの概略についてのご講義をして頂きました。その後、各病期にて診療に携わっている先生方に実際の事例も交えながらご講義をして頂きました。急性期からは六鹿健児先生（東京北医療センター）、回復期からは岡崎俊秀先生（みらいリハビリテーション病院）、生活期からは矢澤拓也先生（ケアセンターけやき訪問看護ステーション）に依頼し、それぞれの立場からどのようにリハビリマネジメントを展開しているかについてわかりやすくお話しして頂きました。

参加者は103名に上り、北は北海道、南は沖縄まで、全国の方々にお聞き頂きました。また質疑応答では、多くの方から質問を頂き、活発な議論を展開することができました。

今後も区西北部ブロック部では、都民や会員のために有意義になるような企画や事業を行っていきたいと思います。今後ともよろしくお願い致します。

報告者：古庄秀明（公益社団法人地域医療振興協会 練馬光が丘病院）



区中央部・南部・島しょブロック部ブロック部
大田区支部 フレッシュマン研修開催報告

- 日時：2026年4月23日
- 場所：牧田総合病院
- 参加者：29名（うち都士会員1名）
- スタッフ：5名
- 内容：

2026年度フレッシュマン研修会に参加させていただき、「ラポール形成のためのコミュニケーションのコツ」について学ばせていただきました。

研修の中で特に印象に残ったことは、聴き上手になることの重要性和、話させ上手になるためのコツについてです。

これまで私は、患者様との会話の中であいづちを入れたり、リアクションをとることは心がけていました。しかし、そこから会話を広げることができず、「聴くだけ」で終わってしまう場面が多くありました。また、患者様からのネガティブな発言に対して、どのように反応すればいいのかわからず会話が止まってしまうこともありました。

今回の研修では、そのような場面で使える、拡張話法である「感嘆→反復→共感→賞賛→質問」という流れを学ぶことができました。リアクションから質問に繋げることで、会話を広げるだけでなく、患者様についてより深く理解できるきっかけになると感じました。また、患者様の「できないこと」に目を向けやすい環境の中で、「できていること」に着目することの重要性についても学ぶことができました。特に、リフレーミングの考え方を取り入れることで、ネガティブな発言や状況に対しても前向きに関わることができると感じました。

今回学んだ内容を活用し、今後は患者様との会話をより広げていき、会話からしか得られない情報を受け取れるように努めます。また、会話の中で得られる言葉以外の表情や反応などにも目を向け、言葉の裏にある感情を汲み取れる療法士を目指してまいります。

報告者 近藤 楓香（蒲田リハビリテーション病院）



地域活性局主催区部
新人オリエンテーション2026 開催報告

- ①日時：2026年4月10日（金）19：00-20：30
 会場：TKP 新橋カンファレンスセンター 13A
 参加者：12名
- ②日時：2026年4月22日（水）19：00-20：30
 会場：東京たま未来メッセ 第1会議室
 参加者：11名
- ③日時：2026年5月14日（木）19：00-20：30
 会場：帝京平成大学 池袋キャンパス MiNoRi セン
 トラル410 教室
 参加者：20名



今年度3会場で実施した新人オリエンテーションでは、衆議院議員田中まさし先生からのご挨拶を頂戴しました。そして豊田会長から新入職の皆様に向けたお話では、理学療法士の能力と時代、社会との関係性、プロフェッショナリズムについてお話がありました。広い視野をもつ先生方のお話からは、多くの皆様の活動があり、現在があることを感じていただけたのではないかと思います。

本会には21の委員会、そして7つの局があります。本会紹介では、代表してスポーツ局、学術局、広報局、地域活性局、エスカレーターマナーアップ推進委員会、動画配信管理委員会の活動を紹介しました。グループワークでは就職してよかったことと困っていることについて話し合いました。良かったこととして、同期との出会い、会への参加機会、教育内容の充実などが挙げられ、困っていることとして、同期がいないこと、今後の学習方法、通勤、全国的な視点の不足など不安である事柄が挙げられました。他の職場との繋がりや生涯学習、マクロレベルの視点は本会を活用することで対応できる課題です。改めて本会の良さを感じるとともに、素敵な新人の皆様にご挨拶をいただいた会となりました。

報告者：知脇希（帝京平成大学）



区区西北部ブロック部 板橋区支部
【活動報告】板橋 City マラソンのサポート&相談会

日時：令和8年3月15日（日）

場所：東京都板橋区 荒川河川敷

対象者：板橋 City マラソン大会参加者

大会参加者：14000名前後（詳細な参加人数は区役所との報告会にて）

サポートスタッフ：16名

内容：

大会概要としてフルマラソンや5kmマラソン、ファミリーラン等、様々な種目があり、参加者は総数約14000名前後でした。我々の活動内容としては、荷物置き場の管理業務に加え、走り終えたランナーの状態変化に対する初期対応、救護室への搬送等の実施、およびコンディショニング対応でした。昨年度は気温が低く低体温症に対する初期対応や救護室の搬送がメインとなりましたが、今年は天候に恵まれ、走り終えたランナー計193名のコンディショニング活動を行うことができました。一方で、直射日光も強くランナーにとって脱水症状を呈しやすい状況であったためか、荷物置き場ブースでの四肢の筋痙攣、意識レベルの低下を認める参加者もおりました。その場での対応や担架を用いた搬送も行う等、スピード感、かつ的確な判断を要する場面を経験することができ、改めて院外のこういった現場活動を実践・経験していく重要性を再認識することができました。また、ファミリーランで参加された小さいお子様もブースに来てくださり、「身体について」や、ケアの方法等をお伝えしました。成長期の方々に対する適切な身体ケアを浸透させていくことは、けがをしない身体作り、健康への意識向上が図れると実感しております。

今後も、理学療法士の価値を高めるため、都民や会員のためになる活動を実施していきたいと思

報告者：遠藤 洋平（医療法人社団 健育会 竹川病院）



**区西北部ブロック部 豊島区支部
ウィメンズヘルス「地域における産後女性向けの相談会 開催報告**

- ・日時：令和8年2月20日
- ・講師：片見 奈々子（東京療育・家族支援訪問看護ステーション）
- ・場所：区民ひろば千早
- ・対象：親子13組（乳幼児14名、母親12名／父親2名）
- ・概要：

本事業は、昨年度よりウィメンズヘルス事業の一環として継続して取り組んでいます。

父親の参加もみられるため、区民ひろばのスタッフの皆様より父親にとっても参考となる内容にしてはどうかとご提案頂きました。そのため、今回は肩こりをはじめとする身体症状に関するストレッチや運動の指導の他、児の発達を促す赤ちゃん体操を実施しました。

参加者の皆様は、子どもとコミュニケーションを取りながら楽しく赤ちゃん体操を行っていました。

個別相談では、親の悩みは自身の身体に関する事はもちろんですが、子の成長に対するものも多く、親の身体的不安だけでなく、精神的不安にも寄り添える会にすることができたと感じています。

理学療法士が子育て世代に対して地域の中で関わることは、身体的なアプローチだけでなく、精神的にも寄り添うことができる可能性を感じています。

次年度は、ウィメンズヘルスならびに小児領域の勉強会等を実施することで、理解を深め、より多くの都士会員が参加できるよう取り組んで参ります。



報告者：片見 奈々子（東京療育・家族支援訪問看護ステーション）

区西北部ブロック部 練馬区支部

【活動報告】練馬こぶしハーフマラソン2026 サポート事業

開催日：2026年3月22日（日）

開催場所：都立光が丘公園 野球場

対象者：予防テーピング：164名

相談会：3名

サポート内容：「ランナーへ走行前の予防テーピングと相談会」

【概要報告】

2026年3月22日に開催された練馬こぶしハーフマラソン2026大会の参加ランナーを対象に、予防テーピングと相談会を実施しました。

事前準備では、2026年2月13日にサポートスタッフ向けにテーピング研修会を実施し、2026年3月13日の事前会議では、当日のサポート内容やランナーに起こり得る体調変化及び急変時対応の方法についての講義を行いました。さらに、大会で使用する問診票を使用してのテーピングの実践練習を実施し、大会当日に向けて準備を行いました。

大会当日は、ランナー向けに走行中の疼痛や筋疲労を予防することを目的として、問診・評価を実施した上で、テーピングを施行しました。去年に比べて多くの方が予防テーピングに来て下さいました。完走後、数名のランナーがブースまで来て下さり、「テーピングのおかげでいつもよりタイムが縮まったよ」、「はじめて完走できたよ」、「来年もよろしくね」等のお声がけを頂きました。また、相談会では、主にテーピングの巻き方を教えてほしい等、セルフテーピングの巻き方をアドバイスさせて頂きました。

今回、練馬こぶしハーフマラソン2026大会へのサポート活動を通して、都民・区民の方との交流ができ、地域に貢献する活動ができました。今後も、理学療法士が地域に密着して関わり、都民・区民の傷害予防・健康維持のため公益性のある事業を多く行い、地域に根差した活動をしていきたいと思っております。



報告者：瀧本知未（慈誠会・練馬高野台病院）

区西北部ブロック部 練馬区支部
【活動報告】 学校保健事業

日時：令和8年3月5日（木）
場所：練馬区立光が丘第八小学校
対象者：小学3年生36名
講師：高柳竜馬氏（慈誠会・練馬高野台病院）
アシスタント：理学療法士3名

内容：

練馬区支部では、子どもの健やかな成長支援のため区内の小中学校での授業を積極的に実施しています。今回は姿勢指導について3年生を対象に実施しました。

前半は、成長期の体の特徴や姿勢に影響を与える因子等についてスライドを用いてわかりやすく説明を行いました。

後半は、自身の姿勢のチェックや正しい姿勢を保つためのコツについて、実際に体を動かしながら体験してもらいました。どの児童も積極的に取り組み、自身の体について興味を持っている様子でした。

今回の講義を通して、普段の授業での姿勢が少しでも改善し、学習効率の向上や体幹機能の向上につながれば幸いです。練馬区支部では、今後も地域の子どもたちのために精力的に活動していきたいと思っております。



報告者：古庄秀明（公益社団法人地域医療振興協会 練馬光が丘病院）

【活動報告】杉並区ユニバーサルタイム

- ・ 日程：2026年2月21日、3月4日、3月14日、3月18日、3月19日、4月15日、4月18日
- ・ 場所：荻窪体育館、上井草スポーツセンター、永福体育館
- ・ 参加者：当事者91名
- ・ 派遣理学療法士：27名

ユニバーサルタイムは、障がいの有無や年齢に関わらず、誰もが安心して身体を動かせる環境づくりを目的とした取り組みです。理学療法士は安全面への配慮を行いながら、参加者それぞれの身体機能や感覚特性、理解度に応じた運動支援を実施しました。

今回の活動では、体育館、グラウンドやビーチコート活動に加え、プールで実施する等多様な環境で実施されました。視覚障害者のランニング練習では、ストレッチマットやバンドを用いた段階的な支援を行い、最終的には伴走下で自立した走行につながる場面もみられました。また、プール活動では障害者スポーツ指導団体からのレクチャー内容を活用しながら、安全に配慮した運動支援を実施しました。

継続参加されている方々の中には、砂上でのバランス能力向上や、ユニバーサルタイムへの参加をきっかけに地域クラブ活動へ参加するなど、社会参加へ発展する様子もみられました。幅広い年代の参加者がおり、視覚障害、知的障害、脳卒中後遺症など多様な背景を持つ方々が、それぞれの目標に向かって主体的に運動へ取り組まれていました。

本事業は治療を目的とした場ではなく、地域で継続的に身体活動へ参加できる環境を支援する取り組みです。理学療法士が関わることで、安全性の確保だけでなく、参加者の成功体験や挑戦を支え、活動や参加を促進する役割を担う重要性を改めて実感しました。

今後も杉並区および関係機関と連携し、誰もが安心して運動に参加できる環境づくりと社会参加の促進に寄与していきたいと考えております。最後に、本事業にご協力いただいた関係者の皆様に深く御礼申し上げます。



報告者：スポーツ支援・推進部 宮川 大（武蔵野みどり診療所）

【活動報告】第35回全日本テコンドー選手権大会

- ・日時：2026年3月21日（土）
- ・場所：町田市立総合体育館メインアリーナ
- ・参加者：200名
- ・救護スタッフ：理学療法士3名

国際テコンドー連盟全日本協会様からのご依頼で、全日本テコンドー選手権大会に救護サポートとして活動致しました。小学生の部から一般の部まで様々な年代の方々が参加され、各地方大会での選考会を勝ち抜いた選手たちによる白熱した試合となりました。今大会の対応内容としては、頭部・顔面打撲による脳振盪疑いが数名おり、救急車要請を行ったケースもありました。



その他、捻挫や下肢打撲への対応を行いました。医療機関の受診を促した選手もおり、大会本部スタッフの方々にもご協力いただきながら対応することができました。大会を通じて、救護サポートのやりがいを感じるとともに、脳振盪の評価など質の高い対応力を身につけるため今後も研鑽して

いく必要性を感じました。

円滑なサポートにご協力いただきました国際テコンドー連盟全日本協会のスタッフの皆様、選手の皆様に心より感謝申し上げます。



報告者：木村豪志（町田病院）

【活動報告】東京マラソンファミリーラン 2026

- ・ 日程 :2026 年 3 月 1 日
- ・ 会場 : 第一生命日比谷ファースト及び東京マラソンフィニッシュエリア周辺
- ・ 対応者数 :3 組 6 名
- ・ 派遣者数 :5 名

東京マラソンファミリーランは 2007 年の東京マラソン第 1 回大会から実施されている小学生と保護者（ペア）向けファンランイベントです。東京マラソンの華やかな雰囲気の中で、丸の内周辺の約 1km のコースを走る喜びを共有する機会として、毎年開催されています。今回も昨年同様、車いす他参加者のサポート依頼を頂きましたので報告致します。

スポーツ支援・推進部では、地域で実施している車いす陸上教室のサポート活動を行っています。その経験を生かし、東京マラソンファミリーラン 2026 でも車いすでの走行者の円滑なアテンド、伴走やご家族様の誘導を行いました。イベント前にコース周辺の下見を実施し、サポートスタッフ間で打合せを重ねて当日のイベントに臨みました。参加されたファミリーからは「街中を車いすですら爽やかに走れて嬉しい」「サポートの方がいるから安心して走れた」といった声をいただきました。フィニッシュ後には笑顔が溢れ、ファミリーとサポート者間でハイタッチを交わしました。これからもスポーツイベントで多くの方に楽しんで頂けるよう工夫しながらサポートしていきます。事前打ち合せからご協力下さいました関係者の皆様へこの場をお借りして御礼申し上げます。



© 東京マラソン財団

【活動報告】 EDORIKU パラ陸上教室サポート

- ・ 日程：2026年5月2日 ・ 会場：江戸川区陸上競技場（スピアーズえどりくフィールド）
- ・ 参加者：7名 ・ 派遣者：3名

今年度も江戸川区と東京マラソン財団の協賛で『EDORIKU パラ陸上教室』が全6回開催されることとなり、初回のサポート活動に参加いたしましたので、ご報告いたします。

天候に恵まれ、トラックを使用して体力測定とレーサー車いす走行を実施し、最後に100mを計測しました。理学療法士として、教室開始前にレーサー車いすの調整、参加者への準備体操および整理体操、レーサー車いすへの移乗介助、シーティング設定、走行サポートなど、定期的な休憩や水分補給を促しながら進めて参りました。久しぶりにレーサー車いすに乗る参加者や、昨年から成長して体形が変わっていたり、レーサー車いすのシーティング設定に時間がかかる場面もありましたが、サポートメンバーで協力し、細心の注意を払いながら、参加者の皆様が安心して楽しく参加して頂けるよう活動致しました。普段は違うスポーツに打ち込んでいる参加者も、レーサー車いすの風を切るスピード感を楽しんで頂く事ができました。色々な年代のたくさんの皆様に、スポーツを通して体を動かす楽しさを伝えていきたいと思っております。今回ご協力下さった皆様有難うございました。



【活動報告】フェンシング大会サポート

- ・日時:2026年2月28日、3月1日、4月12日、4月18日、4月24～26日、5月2～5日、5月8日～14日、5月17日(延べ21日間 *5月9日・10日は2大会実施)
- ・会場:大蔵第二運動場体育館、駒沢オリンピック公園総合運動場、駒沢オリンピック公園屋内球技場、北区滝野川体育館
- ・参加者数:延べ43名
- ・派遣者数:延べ3282名

スポーツ支援・推進部では昨年度に引き続き本年度もフェンシング競技大会での会場サポート活動を行っております。本年度も日本フェンシング協会様、東京都フェンシング協会様、日本学生フェンシング連合様、関東学生フェンシング連盟様よりご依頼をいただき、2月から5月にかけて21回のサポートを実施しました。対応していただいた方々にお礼申し上げます。

フェンシング競技では競技中の外傷(足関節捻挫、打撲、擦過傷)や慢性障害(靭帯損傷、肉離れ)へのテーピング、応急処置、コンディショニング対応だけでなく、熱中症、脳振盪の対応も行います。熱中症、脳振盪への対応はスポーツ現場にかかわるに必要な知識・技術です。スポーツ現場を経験しながら人材育成部主催の研修会等に参加し、知識と技術のブラッシュアップを行うことにより、熱中症や脳振盪などスポーツ現場で急性期対応ができる人材が増えてきております。

引き続きスポーツ支援・推進部では、フェンシング大会を中心にスポーツ現場で活動したい理学療法士へ、スポーツ現場に活動できる環境を整えていきたいと思っております。



報告者:スポーツ支援・推進部 生井真樹(世田谷人工関節・脊椎クリニック)

【活動報告】江戸川区パラスポーツ初心者教室サポート報告(2026年3月～5月)

- ・日程：2026年3月1日、3月15日、4月19日、5月10日
- ・会場：東部区民館、中平井コミュニティ会館、葛西区民館、文化スポーツプラザ、江戸川区総合体育館
- ・参加者総数：延べ43名（新規参加者3名）・派遣者総数：延べ12名

江戸川区で継続的に開催されている「パラスポーツ初心者教室」は、障害のある方や病後の体力低下などにより、運動に不安を感じる方が安心して身体を動かせる場として実施されています。

本期間は、年度末から新年度にかけての開催となり、今年度最後の教室と新年度最初の教室を含む活動となりました。各会場において参加者数や雰囲気の違いが見られ、それぞれの環境や参加者の状況に応じた運営を行いました。教室では、フリートレーニング、ボルレッジ、マイティーポールを中心に実施し、会場特性や参加者の身体機能、当日の雰囲気に合わせて、ボッチャ、ビーチボールバレー、卓球、玉入れなどを取り入れ、参加者の身体機能や状況に応じたプログラムを展開しました。参加者が楽しみながら主体的に運動へ取り組めるよう工夫し、継続的な運動機会の提供につなげています。また、新規参加者の加入やリピーターの増加が見られ、継続参加による動作の安定性向上や運動への積極性の変化が確認されました。これまで座位中心で活動していた参加者が立位での運動へ挑戦する場面や、参加者同士が自然に声を掛け合う様子も見られ、教室が地域交流の場としての役割も担っていることが感じられました。今後も、参加者一人ひとりが安心して前向きに運動へ取り組める環境づくりを大切に、地域と連携しながら継続的な支援を行ってまいります。



報告者：スポーツ局 スポーツ支援・推進部 安達瑠那（森山記念病院）

【活動報告】青山学院大学フェンシング部サポート

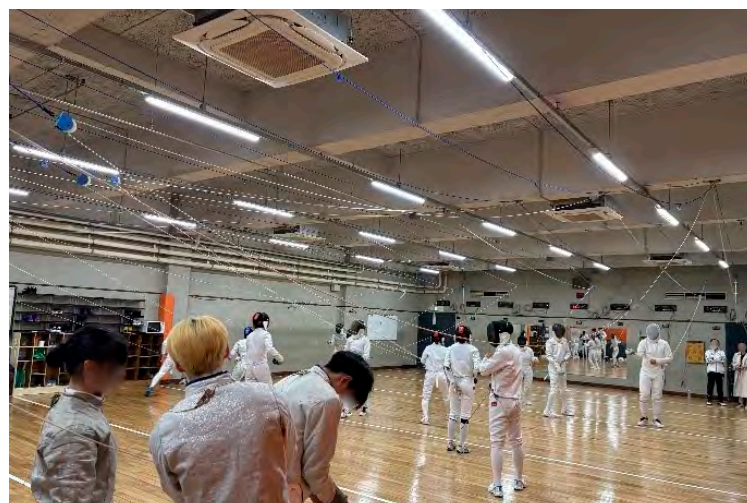
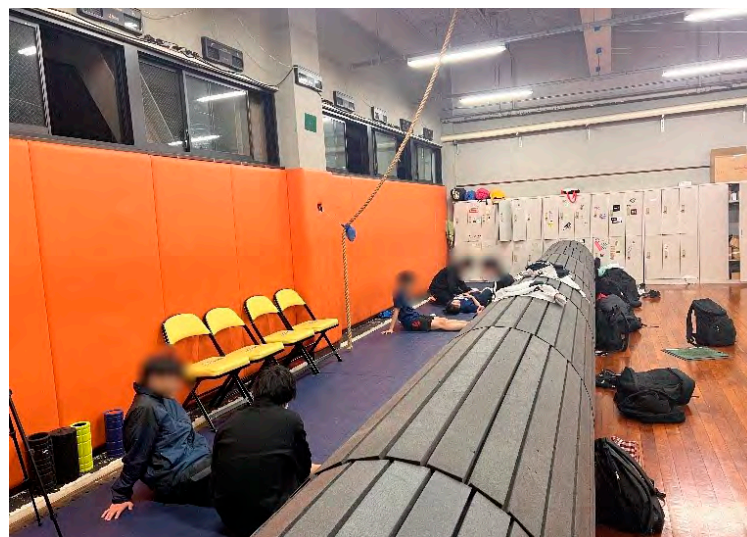
- ・日程：2026年2月21日、3月7日、4月11日
- ・会場：青山学院大学
- ・参加数：延べ20名
- ・参加スタッフ数：延べ2名

青山学院大学フェンシング部のサポート活動では、主にトレーニング指導や怪我に対しての個別対応を行っております。

トレーニング指導では、基礎的なトレーニングをはじめ、アジリティ系のトレーニングなども取り入れており、フェンシングの競技特性に応じたトレーニングを実施しております。

また、選手から怪我に対しての相談も多く寄せられており、1人1人に合わせたコンディショニングやケアの方法を指導しております。ここ最近では怪我の相談以外に、「速くファントをするためにはどうしたらよいか」などのパフォーマンス向上に対する相談も増えており、選手の競技に対する意識の変化を感じております。

フェンシング競技は試合が多く、連戦になることも少なくありません。その中でも怪我なくフェンシングが出来るよう、今後も理学療法士として選手のサポートに全力で取り組んでまいります。



報告者：土橋 夏実（三宿病院）

「認定スクールトレーナー (ScT) 事業」
 【活動報告】港区 アイگران保育園元麻布 学校保健委員会
 「幼児期の運動発達と遊び (走る・ボール投げ)」

開催日時：2026年3月4日(水) 13時30分～14時30分

会 場：アイگران保育園 元麻布

対 象：保育士

参加者数：7名

講 師：渡邊祐介先生 (東京脊椎クリニック)

参加スタッフ：齋藤弘樹、尾崎庸宏

この度、アイگران保育園元麻布の学校保健委員会において、「幼児期の運動発達と遊び (走る・ボール投げ)」をテーマにご依頼いただき、講話を実施しました。前回の講話終了後に先生方より「うまく走っていない子がいるがどこをみてあげればいいのか分からない」「ボールをまっすぐ投げられない子が多いがどうしたらいいか」とご要望をいただきました。



当日は、走る・ボール投げをテーマとして動きの多様化・洗練化を中心としてかく動作の手順やタイプ別の特性、遊びの発達を促す遊びなどの説明を交えながら行いました。

学校保健委員会終了後には、先生方より「実際の園児の走り方を教えていただき、実際にどのような運動や遊びを勧めればいいのか」「園児同士だと特にボールをうまく投げられないがどうすればいいか」と質問をいただき本取り組みが保育現場での乳幼児での発達につながる可能性を感じる機会となりました。

今後も、各学校や保育現場の実情やご要望に応じながら、学校保健事業の充実に努めてまいりたいと考えております。

このような貴重な機会を与えてくださいましたアイگران保育園元麻布の皆様、並びにご協力いただきました理学療法士スタッフの皆様に、心より感謝申し上げます。

報告者：尾崎庸宏 (Luz 大森整形外科)

「認定スクールトレーナー (ScT) 事業」
【活動報告】都内 A 小学校における検診補助及び姿勢観察と助言活動

開催日時：2026 年 4 月 21 日 (火)・22 日 (水)・28 日 (火)

対 象：小学 1 年生～小学 6 年生 約 430 名

参加スタッフ：4 月 21 日 渡邊祐介 (東京脊椎クリニック)・齋藤弘樹

4 月 22 日 森本孝則 (Physical Care Room T)・齋藤弘樹

4 月 28 日 向家知宏 (浮間中央病院)・齋藤弘樹

内 容：都内の小学校からの依頼を受け、内科・運動器検診の補助活動を実施しました。内科検診時には、児童の誘導を行いながら、待機している児童の立位姿勢の観察をして、姿勢が崩れている児童にはその場で行えるフィードバックなどをしました。運動器検診では、調査票にて検査が必要であった児童に対して、検査項目の提示や医師と一緒に各項目の運動器の評価を行いました。一部の児童には、ストレッチングの指導なども行わせて頂きました。運動器検診の対象は 3 日間で 15 名でした。

姿勢観察で得られた児童の姿勢の傾向については、養護教諭の先生と共有を致しました。今後も学校と連携をとり、児童の心身の健全な発達を支援する活動を行っていきたいと思います。

報告者：齋藤弘樹 (大橋病院)

「認定スクールトレーナー (ScT) 事業」

【開催報告】「理学療法士の専門性と授業デザイン～学校からの要望に応えるために～」 研修会

開催日時：2026年2月19日（木） 19:00～21:00

会 場：オンライン開催

対 象：学校保健活動に興味のある都士会員及び全国の理学療法士

参加者数：80名

講 師：

①東京都における学校保健事業（教育機関からのご要望） / 渡邊祐介氏（東京脊椎クリニック）

②授業をデザインする～気がいたら動ける身体になった！ / 谷口こゆき氏（東洋英和女学院小学部 教諭）

司会進行：森本孝則（子どもの健康・安全部 副部長）

内容：

本研修会では、学校現場における子どもたちの運動器の健康課題や、教育機関から理学療法士に求められている役割について共有されました。渡邊氏からは、これまでに東京都理学療法士協会スポーツ局の子どもの健康・安全部へ寄せられた学校保健領域での相談や依頼内容がまとめられたデータが提示され、姿勢、運動習慣、ケガ予防、体力低下など、教育現場における多様なニーズがあることを紹介して頂きました。谷口氏からは、学校教育現場における授業づくりについて、体育授業の実践例を交えながら講義が行われました。子どもたちの「できた」という成功体験を引き出すための授業デザインや、学年差・個人差に応じたスモールステップ化、遊びを通した身体づくりなど、理学療法士が学校現場で支援する上で重要な視点について学ぶ貴重な機会となりました。全国からオンラインで参加され、学校保健活動への関心の高まりも感じることであった研修会でした。



報告者：齋藤弘樹（大橋病院）

「認定スクールトレーナー (ScT) 事業」
【開催報告】「子どものパフォーマンスを高める身体づくり」 研修会

開催日時：2026年2月27日（金） 19：00～21：00

会 場：東京体育館 第一会議室（対面開催）

対 象：学校保健活動に興味のある都士会員及び全国の理学療法士

参加者数：19名

講 師：

①東京都における活動報告（コーディネーション能力を高める授業） / 齋藤弘樹（大橋病院）

②子どもの動きを伸ばす力ー遊びからはじまるパフォーマンスづくりー / 鈴木享之氏（長汐病院）

司会進行：渡邊祐介（子どもの健康・安全部 部長）

内 容：本研修会では、子どもの身体づくりにおいて重要となる「遊び」や「多様な運動経験」に着目し、理学療法士の専門性を活かした支援方法について共有をしました。

前半では、東京都内の学校現場で実施しているコーディネーション能力向上を目的とした授業実践について報告が行われました。鬼ごっこやラダー運動、ボール運動などを活用しながら、バランス能力、反応能力、リズム能力、空間認知能力などを育てる取り組みが紹介されました。

鈴木氏による講義では、子どものパフォーマンス向上には、筋力や技術練習だけではなく「ほめる」ということの重要性が参加者に伝えられました。小グループを作り、実際の運動を体験しながら、フィードバックのポイント等を学びました。対面開催ということもあり、参加者同士で意見交換を行いながら実技を体験する場面も多く、学校保健や地域活動における理学療法士の可能性について考える有意義な研修会となりました。



報告者：齋藤弘樹（大橋病院）

「認定スクールトレーナー (ScT) 事業」

【活動報告】 渋谷区立神宮前小学校 姿勢の授業 「アセスメントにもとづいた正しい姿勢と体づくり」

開催日時：2026年2月17日(木) 9時25分～10時10分

会 場：渋谷区立神宮前小学校 体育館

対 象：小学4年生

参加者数：58名

講 師：森本孝則 (Physical Care Room T)

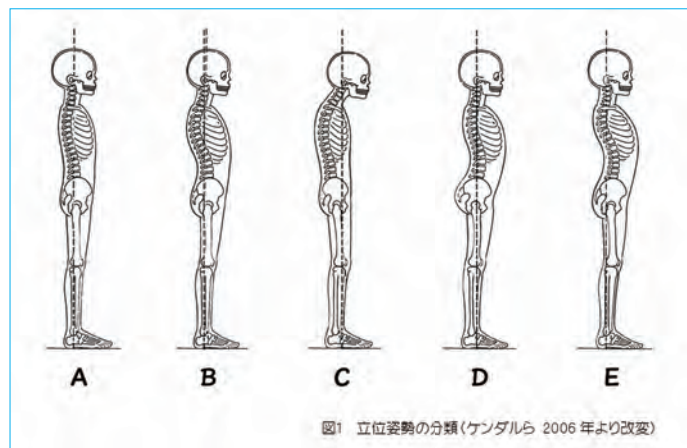
参加スタッフ：国分空以、岩山睦、門馬博、木村豪志、守屋百花

このたび、渋谷区立神宮前小学校より「アセスメントにもとづいた正しい姿勢と体づくり」のご依頼を頂き、実施して参りました。

生徒の姿勢が気になるというご相談を受け、今回の活動では姿勢アセスメントの結果をもとに、正しい姿勢を身に付けてもらうことを目的として取り組みました。今回は姿勢アセスメントの結果をもとに、3つのグループに分けてプログラムを行いました。姿勢アセスメントの結果は以下の通りです。

- タイプA (理想の姿勢)：31名 (57.4%)
- タイプB (反り腰・猫背型)：8名 (14.8%)
- タイプC (ぺったんこ型)：3名 (5.6%)
- タイプD (亀の甲羅型)：1名 (1.9%)
- タイプE (反り腰型)：11名 (20.4%)

※図1参照



半数以上の57.4%がA判定と良好な結果である一方、約4割の生徒に姿勢の課題が見られました。プログラムは、それぞれの姿勢タイプに応じたグループ別の内容で実施し、生徒の状態に合わせた指導を行いました。

今後に向けて、今回の結果を踏まえ、姿勢に課題のある児童への継続的なケアと、怪我予防に向けた安全管理の徹底が重要と考えます。今後は姿勢改善プログラムのさらなる充実とともに、走る・投げる・跳ぶといった基本的な運動やコーディネーショントレーニングなど、様々な要素を取り入れたプログラムを実施していければと思います。

今回このような機会を頂きました神宮前小学校の皆様、心より感謝申し上げます。今後とも皆様の健康に繋がる活動を継続していきたいと思っております。



報告者：森本孝則 (Physical Care Room T)

「認定スクールトレーナー (ScT) 事業」

【活動報告】 府中市立白糸台小学校 学校保健委員会 「姿勢と健康について考えよう」

開催日時：2026年2月25日(火) 14時30分～15時30分

会 場：府中市立白糸台小学校 体育館

対 象：教諭、保護者

参加者数：36名

講 師：森本孝則 (Physical care room T/ 子どもの健康・安全部副部長)

参加スタッフ：理学療法士5名

このたび、府中市立青白糸台小学校の学校保健委員会において、「姿勢と健康について考えよう」をテーマにご依頼をいただき、講話および実技を実施いたしました。事前に養護教諭の先生からは、「姿勢が悪い児童が増えていること」「家庭や学校で心がけること(生活・ストレッチ)や注意することなどを教えて欲しい」といったご要望をいただいております。

当日は、良い姿勢のメリット、姿勢不良が続くことのデメリットを伝え、自宅で実施可能なストレッチや運動を実技を交えながら体感していただきました。先生方も体の固さを実感したと話され、固さの指標が分かって良かったとの感想も頂きました。



本取組が家庭での実践につながる可能性を感じる機会となりました。

今後も、各学校の実情やご要望に応じながら、学校保健事業の充実に努めてまいりたいと考えております。

このような貴重な機会をお与えくださいました白糸台小学校の皆様、ならびにご協力いただきました理学療法士スタッフの皆様、心より感謝申し上げます。

報告者：渡邊祐介 (東京脊椎クリニック / 子どもの健康・安全部 部長)

【研修会案内】 人材育成部主催事業



東京都理学療法士協会 スポーツ局 人材育成部主催

猛暑が来る前に、備えを。

熱中症対応研修会

- 現場での判断・初期対応 -

判断は準備で決まる！

その時に備えた”実践”を！

地域活動やスポーツ現場で日々、熱中症対応を行っている講師が
教える！



基礎から初期対応まで



座学+実技で



実例をもとに学び
現場に活かす

参加費

TPTA 会員 1,000 円
他県士会会員：3,000 円



こんな方に
おすすめ！



初学者の方に

迷わず動くための
“最初の一步”を



経験者の方に

知識を整理し、体で覚えなおす
“実践の場”を



開催日時

2026 年
6 月 9 日 (火)
19:00 ~ 20:30



会場

東京体育館
第 1 会議室
東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-17-1



定員

30 名
※先着順



申込期限

2026 年
6 月 5 日 (金) まで

メイン講師

渡邊祐介 / 理学療法士・JSPO-AT

東京都理学療法士協会スポーツ局子どもの健康・安全部部长 / 東京脊椎クリニック

アシスタント講師

鈴木享之・生井真樹

鈴木真治・森本孝則

その判断が、**命を守る。**
今、学び備えましょう。

セミナー詳細はこちら▶

セミナー番号：159213 講義番号：286507



【研修会案内】 人材育成部主催事業



東京都理学療法士協会 スポーツ局 人材育成部主催

明日 から使える！

足関節テーピング研修会

- 回外捻挫の評価・鑑別・固定を実技で学ぶ -

スポーツ現場で
頻度の高い足関節捻挫に
しっかり対応できる
スキルを身につける！

評価から鑑別、テーピング固定までを体系的に学び、
現場で自信を持って対応できる力を育てます。

参加費

TPTA 会員：1,000 円 他県士会会員：3,000 円



基礎から学ぶ
足関節の解剖や受傷機転、
評価のポイントを解説



鑑別力を高める
骨折・高位捻挫・靭帯損傷
との鑑別を整理する



実技で身につける
スポーツ現場で使える
テーピング固定を実践



再発予防・復帰支援へ
評価に基づく対応で
競技復帰をサポート



こんな方に
おすすめ！



初学者の方

安全で再現性の高い基本技術を学びたい方



経験者の方

競技特性や症状に応じた固定強度の
調整や現場での判断力を高めたい方



開催日時

2026年
7月7日(火)
19:00～20:30



会場

東京体育館
第2会議室
東京都渋谷区千駄ヶ谷1-17-1



定員

30名
※先着順



申込期限

2026年
6月30日(火)まで

メイン講師

生井真樹 / 理学療法士

東京都理学療法士協会スポーツ局スポーツ支援・推進部部長 / 世田谷人工関節・脊椎クリニック

アシスタント講師

平良寛朗・向家知宏・岩山睦

評価に基づいた対応が、選手の未来を守る。
知識と技術を、明日からの現場に。

セミナー詳細はこちら▶

セミナー番号：159218 講義番号：286512



実技で学ぶ！ 命を守る対応力

スポーツ現場で起こる
外傷への対応と
搬送法について

「判断力」と「実践力」を身につける！



講師 国士舘大学
防災・救急救助総合研究所



日時 2026年
8月8日(土)
9:00 ~ 13:00



頭頸部外傷



心停止対応



搬送法の実技



会場
東京体育館 第二会議室
東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-17-1

備えが、すべてのアスリートを守る。

その一歩が、**命**をつなぐ。



参加費

TPTA 会員
3,000 円
他県士会会員
6,000 円



定員

30 名

※定員に達し次第、
締め切ります。



事前申込期間

2026/7/30

※定員に達し次第、
締め切ります。



ポイント付与

登録理学療法士更新
スポーツ分野における理学療法 3ポイント
認定 / 専門理学療法士更新
3ポイント



東京都理学療法士協会
スポーツ局 人材育成部主催

セミナー詳細はこちら▶

セミナー番号：159576 講義番号：286873



執筆投稿規定

1. 学術研究論文
2. 教育関係論文
3. 症例報告論文

4. 行政及び士会運営に関する論評等

【投稿者の資格】

公益社団法人東京都理学療法士協会会員に限る。但し会長が依頼した場合この限りではない。

【投稿原稿の条件】

投稿原稿は他誌に発表、または投稿中の原稿でないこと。本規定に従って作成すること。

【著作権】

本誌に搭載された論文の著作権は東京都理学療法士協会に属する。

【研究倫理】

ヘルシンキ宣言に基づき対象者の保護には十分留意し、説明と同意などの倫理的な配慮に関する記述を必ず行うこと。

【原稿の採択】

原稿の採択は複数の査読者の意見を参考に編集委員会において決定する。査読の結果、編集方針に従って原稿の修正を求められることがある。また、必要に応じて編集委員会の責任において字句の訂正を行うことがある。

【執筆規定】

1. 論文構成

- 1) 標題（表題）：内容を具体的かつ的確に表し、できるだけ簡潔に記載する。原則として略語、略称は用いない。
- 2) キーワード：標題及び要旨から3個を抽出する。不十分な場合は本文から補充する。
- 3) 著者名、所属名
- 4) 要旨：「目的」「方法」「結果」「結論」を含めて400字程度で記載する。

5) 本文：下記の各部分から成り立っていることを原則とする。

- ① はじめに（序論、諸言、まえがき等）
- ② 対象および方法（症例紹介）：倫理的配慮を記述すること。

- ③ 結果
 - ④ 考察
 - ⑤ 結論（まとめ）
 - ⑥ 文献：引用文献のみとして本文の引用順に並べる。本文の該当箇所の右肩に一連番号を付ける。引用文献の著者氏名が3名以上の場合、最初の2名を記載し、他は「・他」あるいは「et al.」とする。雑誌の場合は著者氏名、論文題目、雑誌名、巻、号、頁、西暦年号の順に記載する。単行本の場合は著者氏名、書名、編集者氏名、発行所名、発行地、年次、頁を記載する。
- <表記例>

・藤田信子, 柘田康彦・他: 椅子座位における側方傾斜刺激に対する頸部・体幹・四肢の筋活動一筋電図学的分析. 理学療法学, 17:27-30, 1990.

・Sepic, S.B, Murray, M.P, et al.: Strength and Range of motion in the Ankle in Two Age Groups of Men and Women. Am. J. Phys. Med., 65:75-84, 1986.

・真島英信, 猪飼道夫: 生体の運動機能とその制御. 杏林書院, 東京, 1972, pp185-193.

・Junda, V.: Muscle Function Testing Butterworths, London, 1983, pp224-227.

6) 図表

原寸でそのまま掲載する（作図や縮小はしない）。図の番号および標題は図の下に、表の場合は表の上につける。本文と図表は分けて作成し、表・図・写真の挿入位置を本文の右欄外に指示する。

2. 原稿規定分量

原則として400字詰め原稿用紙20枚・8000字以内とする。

3. 文字表記

原則として現代かな使い、数字は算用数字、単位は国際単位系（SI単位）を用いる。

4. 略語

略語は初出時にフルスペルあるいは和訳も記載する。

5. 表紙頁, 著者頁

執筆投稿規定

論文には表紙頁と著者頁をつける。表紙には標題、キーワード(3個)、本文ページ数、図表枚数、原稿文字数を記載する。著者頁には著者名、所属名、責任者連絡先(住所・電話番号・Email アドレス)を記載する。表紙頁、著者頁の後に要旨・本文・図表を改めて記載する。

6. ページ番号・行番号

原稿にはページ番号(最下部中央)と本文右(または左)に5行ごとに行番号を記載する。

【原稿送付方法および連絡先】

1) 原稿送付先

原則として投稿原稿一式を1つのファイルにまとめ、

電子メールに添付して下記へ送付する。上記が不可能な場合は問い合わせすること。

2) 原稿送付先および連絡先

〒189-0024 東京都小金井市中町 2-22-32

社会医学技術学院 理学療法学科

(担当者) 中山雅和

TEL : 042-384-1030

FAX : 042-384-8508

E-mail : pt_tokyo_kikanshi@yahoo.co.jp

(平成31年1月31日 改定)

編集後記

令和8年度も6月を迎えようとしています。会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。年度初めの慌ただしさも一段落と言いたいところですが、今年度は6月1日から施行される診療報酬改定、介護報酬改定の最終段階でご多忙を極めていることと存じます。また5月19日に厚生労働省にリハビリテーション統括調整室が設置されました。時代は大きな転換点を迎えているようにも感じます。代議員の皆様におかれましては6月13日に代議員総会が開催されますので、ご準備をいただきたくお願い申し上げます。最後になりますが皆様の日々の活動がさらに発展されることを願ってやみません。(M.I)

X

Facebook

Instagram

公式ライン



フォロワー
1,189

フォロワー
117

フォロワー
782

友だち
211

公益社団法人 東京都理学療法士協会 正会員数

11,513名 (令和8年5月25日現在)

(事務局) 〒151-0053

東京都渋谷区代々木 1-58-7 ヴェラハイツ代々木 201

Tel : 03-3370-9035 FAX : 03-3370-9036